


# 認知症とは??

認知症は脳の病気によって引き起こされます。さまざまな原因によって脳細胞が少なくなったり、脳の働きが悪くなったりすることで、もの忘れや判断力の低下など、日常生活に支障が出る状態です。

## 代表的な認知症の種類

- ・アルツハイマー型認知症 ……脳にアミロイドβというゴミがたまることで、脳の働きが障害されます。認知症の原因の約半数を占めます。代表的な症状として、記憶障害や日時や場所がわからなくなることがあります。
- ・レビー小体型認知症 ……代表的な症状として、パーキンソン症状(動作緩慢、歩行障害など)やレム睡眠行動障害(夜中に大声を出す、手足を動かす、歩き出すなど)を伴い、症状の変動が大きいことが特徴です。
- ・脳血管性認知症 ……脳梗塞などが原因で神経細胞に血液や酸素が届かず、脳の細胞が少なくなることによって発症します。代表的な症状として、歩行障害や意欲低下がみられます。脳梗塞などの再発により認知機能が悪化します。
- ・前頭側頭型認知症 ……前頭葉と側頭葉にタウタンパクなどがたまることで脳が委縮します。脱抑制(社会ルールが守れない)を中心とした人格変化や常同行動(同じパターンの行動に固執する)など「我が道を行く」行動をとる特徴があります。

### 伝えておきましょう「自分の思い」

認知症は進行性の病気で、認知症が進行すると自分の思いを伝えられなくなることが多く、自分の望む暮らし、治療やサービスを受けられなくなることがあります。



あなたの“いきかた”を支え、あなたの人生をより良いものへとするためにも、認知症になる前、あるいは認知症になった後でも、親しい人へ自分の思いを伝えておくことが大切です。

唐津市では、安心して人生の最期まで自分らしく暮らしていくための手がかりとして、「いきかたノート」を作成しました。

「いきかたノート」は唐津市地域包括支援センター、各市民センター及び唐津市社会福祉協議会で無料配布しています。